

# 校長室だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/maruyamaadai/>

## 「努力は報われるか」について考える ～10月11日前期終業式、後期始業式の講話から～

校長 藤 至光

全校生徒の皆さん、こんにちは。今年度も今日でちょうど半分、前期と後期の切り替えの日です。マラソンでいう折り返し地点というところですよ。

今各学年の代表生徒の話聞いていましたが、それぞれ、前期の生活をきちんと振り返って課題を明確にしていました。代表生徒の話が終わると放送室の中、2階の3年生の教室から大きな拍手が贈られています。心から応援できる温かい学校だなあと私は嬉しく思います。

さて、皆さんは、前期の学校生活の中でどんなことを頑張ってきましたか？きっと勉強や生活、スポーツ等に目標を立て努力を続けていると思います。それでも、「勉強を頑張っているけど成績が良くならない」とか「スポーツで努力しているけど、なかなか結果が出ない」などと、悩むこともあるでしょう。

今日は、「努力」ということについて一緒に考えてみたいと思います。

今年の夏、コロナ禍で行われた東京オリンピックは記憶に新しいと思います。

皆さんはどんな選手や種目を応援しましたか。柔道やレスリングではたくさんのメダリストが誕生しました。女子バスケットボールやソフトボールの活躍も目立ちました。その他にもスケートボードや体操競技など印象に残るシーンが思い出されます。世界中のアスリートは、何年も努力を重ね、日々の生活も厳しく管理してオリンピックに臨みます。その中でメダルと取ることはとっても難しく、素晴らしいことだと思います。しかし、選手全員がオリンピックで成果を出すことを目指して努力する中、メダルを取ることだけが価値があるのでしょうか。入賞しない選手やメダルを取らない選手、早々と敗れた選手やチームは価値がなかったのでしょうか？

私はそうは思いません。閉会式の時、多くの国の選手が楽しそうに行進していました。メダルを一つも取っていない国もありましたが、選手はみんな実に堂々としていました。その競技でメダルを取らなくても、これまでに続けた努力は本物だったのです。勝った選手だけが素晴らしいのではなく、敗れて新たな課題が見えたことや、負けて初めて敗れた選手の心を理解できたことが尊いと思うのです。

インタビューを受けたほとんどの選手は、周囲の人たちの理解や支えに感謝の気持ちを述べていました。努力は、全ての人に対して謙虚な気持ちを思い出させるのです。

「努力は必ず報われる」私はそう信じています。努力は、継続する強い心や頑張る意欲、人の痛みがわかる優しい心を育てます。たとえメダルや入賞に及ばなくても、それだけ人の成長に大いに報いることになります。だから成果が出なくても努力することは大きな意味があります。皆さんも後期に向け、もう一度努力する意味を考えてみてください。きっとこれまで見えなかった成長が見えてくるに違いありません。

